取扱説明書 —— 簡易取り付け型 —— 保管用

赤外線リモコン
LI-3853

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕様

タイプ	適合ランプ	本数	使用電圧	適合畳数
LI-3853	白熱ランプ E26 110V 60W	6本	100V	8畳

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

すぐ取付けられます

角形／丸形／フル引掛シーリング

引掛埋込／引掛露出ローゼット

フル引掛ローゼット

配線器具の取付工事が必要です（電気店・工事店へ依頼してください。）

配線だけの場合
付属の引掛シーリングを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合
市販の引掛埋込ローゼットを取り付けてください。

⚠警告

⊘ 破損したりガタついている配線器具には取付けないでください。
配線器具を取替えてから器具を取付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

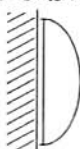
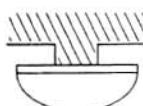
破損しているもの　ガタつくもの

⊘ 樹脂製ボックスカバーには取付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。　**★一般の方の工事は法律で禁止されています。**

❗ 器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に行ってください。
★取り付けに不備があると器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 次のような場所には取付けないでください。　**★器具の落下事故によるけがの原因になります。**

⊘ 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

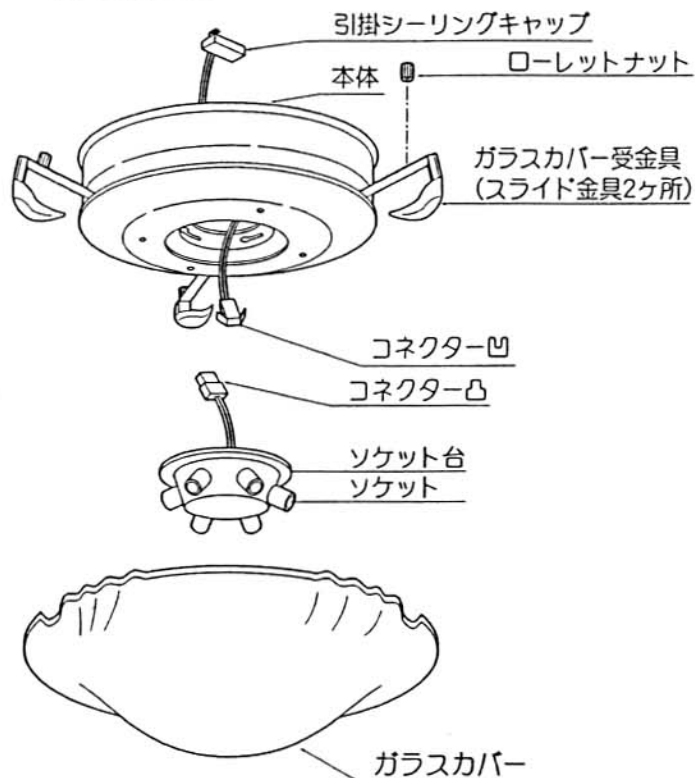
⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具やカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

⊘ 点灯中や消灯直後の電球にはさわらないでください。
★やけどの原因となります。

各部の名称 (説明図は、一部を省略抽象化した図です。) (不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】

【付属品】

角形引掛け
シーリングボディー ・・・・1個

※取り付けは、工事店または電気点にご依頼ください。

360W タイプ E26 普通ランプ 110V60W・・6 個

取付金具
(本体取付ネジ2本付き) ・・1個

木ネジ
(シーリングボディー用)・・2本

木ネジ
(取付金具用)・・・・・・・・2本

取扱説明書 (本書)・・・・・1枚

リモコン送信機 ・・・・・・1個

単三乾電池 ・・・・・・・・・2本

リモコン取扱説明書(本書)・・1枚
保証とアフターサービスについて (別紙)・・・・・・・1枚

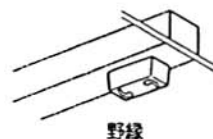
取付場所の確認

※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコン動作しなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

⚠ 警告

取付金具は、必ず補強剤のある場所に取付けてください。
★補強剤のない場所に取付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意

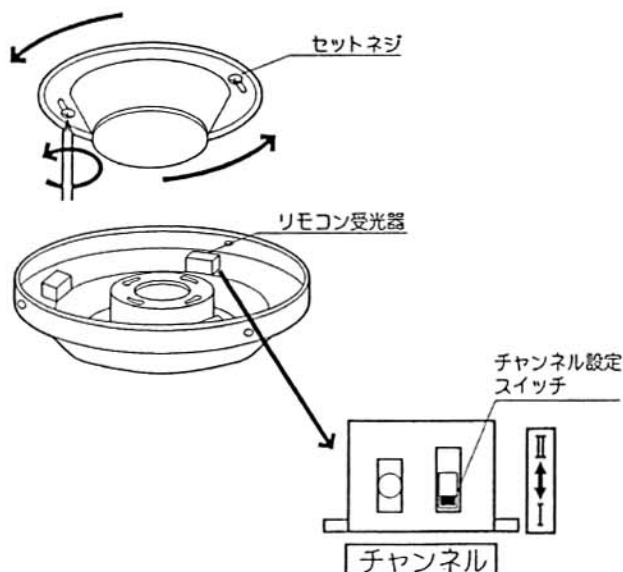
建物の構造によっては、付属の木ネジでは取付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取付けてください。

取り付ける前に

※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコン動作しなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

●本体からソケット台をはずします。
①セットネジ (2本) をゆるめます。
②ソケット台を左に回転させ、ソケット台をはずします。

●リモコン受信チャンネル番号を設定します。
本体を取り付ける前に、本体内側にあるリモコン受信チャンネルを設定します。リモコンのチャンネルは、工場出荷時には「1」になっています。

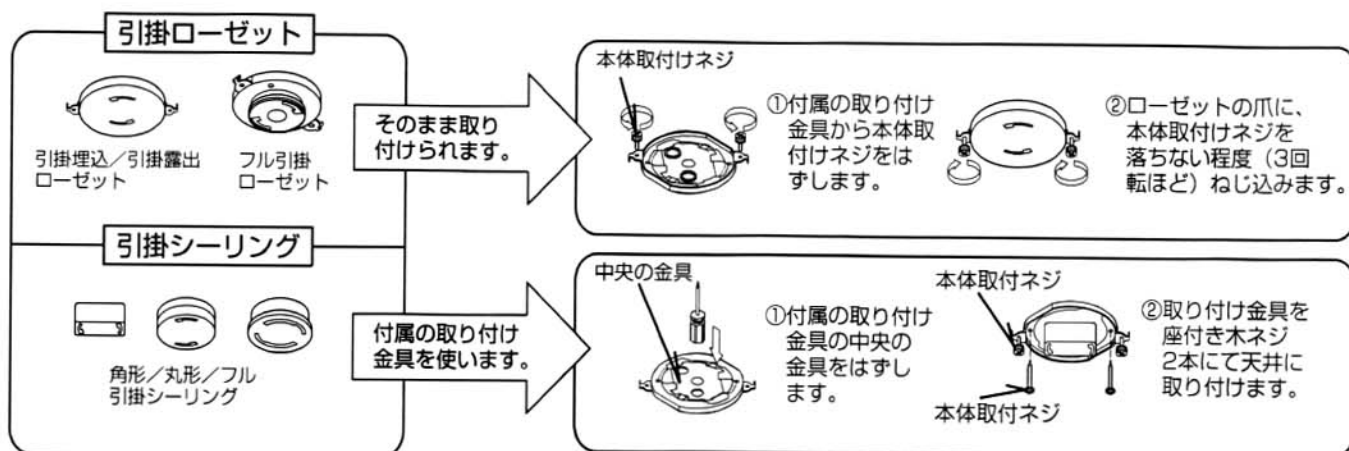
同じ部屋に当社のリモコン器具(RTD-03Y 送信機対応器具)を2台取り付ける場合。

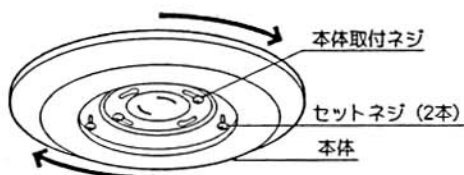
器　具	本体側チャンネル	送信側チャンネル
1台目	1	1
2台目	2	2

(リモコンの詳しい操作方法については、別紙の「赤外線リモコン取扱説明書」をご覧ください。)

●取り付け方　⚠注意　❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

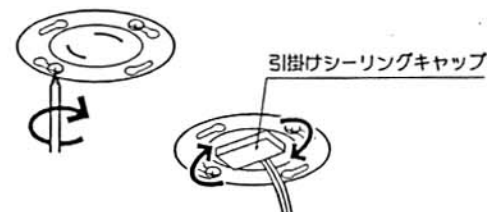
⚠警告 ❶ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

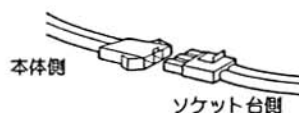
■取付ける前に　①カバーをはずします。（『◆ランプの交換』の「2.」の項をご覧ください。）
②ランプなどに付けてあるパッキング類を取り除きます。

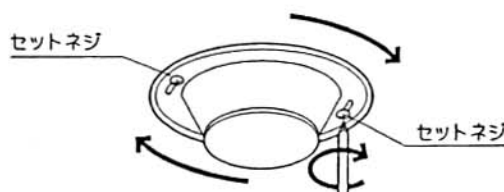
1. 器具本体のセット

2. 本体の取り付け

①本体取付けネジの頭を本体のダルマ穴に通します。　②本体を右に回し、ねじの頭が溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて本体を固定します。

⚠締め込みが不十分な場合、器具の落下による「けが」の原因となります。

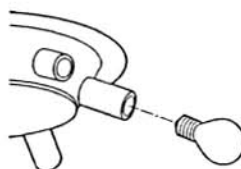
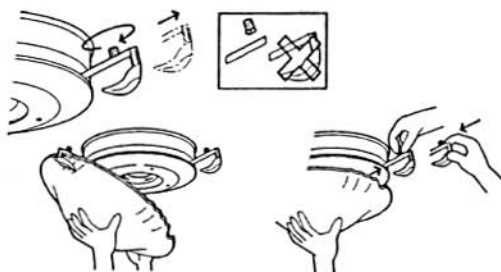
3. 引掛けシーリングキャップの接続

引掛けシーリングキャップを引掛け埋込ローゼット、または引掛けシーリングボディに差し込んで、時計方向に止まるまで回転させます。

4. コネクターの接続

本体側のコネクター凹とソケット台側のコネクター凸を接続します。

5. ソケット台の取付け

①ソケット台のダルマ穴に本体のセットネジを通します。
②ソケット台を時計方向に止まるまで回転させてから、セットネジを締め込み固定します。

6. ランプのセット

⚠注意
ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。

ランプをソケットにねじ込みます。

7. カバー(ガラス)のセット

⚠注意
カバーはガラス製で重量もあります。取付作業は、なるべく二人で行うようにしてください。

●ガラスカバー受金具は3個です。内2個は可動式のスライド金具です。
①2個のスライド金具の上のローレットナットをゆるめてスライド金具を外側に引き出します。
②固定式のガラスカバー受金具にカバーの端を差し入れます。この時カバー外周のへこんだ部分にカバー受金具をはめ込むようにセットします。

⚠注意
スライド金具は絶対に取りはずさないでください。

③カバーを片手で押さえながら、引き出したスライド金具を本体中心の方へ戻し、ローレットナットを締め込みスライド金具を確実に固定してください。

⚠注意
スライド金具はカバーのへこんだ部分に入り込むように最後まで戻してください。
★途中で固定するとカバーが落下する原因となります。

●お手入れについて　⚠注意　❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

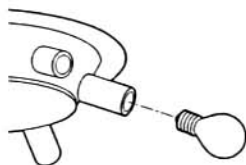
●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

1．壁スイッチを切ります。

2．カバーをはずします。

3．電球を交換します。

⚠注意

・カバーはガラス製で重量もあります。電球の交換作業は、なるべく二人で行うようにしてください。
・電球を交換する場合は、必ずスイッチを切ってから行ってください。
・電球が切れた直後は熱くなっていますので、絶対に素手で触らないでください。
冷えてから交換するか又はハンカチやタオル等を使って交換してください。
・適合電球以外の電球はご使用にならないでください。
（電球の短寿命や異常発熱による事故、故障の原因となります。）

●ガラスカバー受金具は3個です。内2個は可動式のスライド金具です。
1．カバーをはずします。
①片手でカバーを押さえながら、スライド金具の上のローレットナットをゆるめて、スライド金具を2個とも外側に引き出します。
②静かにカバーをはずします。
2．古い電球をはずし、新しい電球をソケットにねじ込みます。
3．カバーをセットします。
『●取り付け方』の「7．カバーのセット」の項をご参照ください。

◆スイッチ操作

1．壁スイッチを「ON」にします。
2．リモコン送信機のチャンネル番号を受信側のチャンネル番号にあわせます。
3．リモコン送信機のスイッチボタンを押して、お好みの点灯モードに合わせます。

※ご使用にあたって
●お出かけの際や長時間使わないときには、壁スイッチを、「OFF」にしてください。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態の場合、リモコンの電力（約1W）を消費します。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態で停電がおきた場合、停電が回復したとき、全点灯状態になります。

（リモコン操作の詳しい操作方法については、別紙の「赤外線リモコン取扱説明書」をご覧下さい。）

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。